

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 文化財保護センター情報保守事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 文化財保護センター 管理調整係

電話番号：058-237-8550

E-mail：c21807@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,492 千円 (前年度予算額：1,587 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,587	0	0	0	0	0	0	0	1,587
要求額	1,492	0	0	0	0	0	0	0	1,492
決定額	1,492	0	0	0	0	0	0	0	1,492

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

当センターでは、発掘調査実施にあたりパソコンで作業を行う際にイラストレーターを使用しているが、CDによる開発元のサポートは現在行われていない。

岐阜県情報セキュリティポリシーにおいて、業務に使用するソフトウェアは開発元のサポートが切れたものを使用してはならないとされていることから、ライセンスを購入・更新して、サポート切れ状態を解消する。

(2) 事業内容

◎発掘・整理作業で使用するソフトウェアの更新

発掘・整理作業に使用するソフトウェアをライセンス購入・更新する

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担（岐阜県情報セキュリティ関係規定に基づく更新であるため）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
消耗品費	39	ソフトウェア購入代
使用料及び賃借料	1,453	アドビイラストレーターCC年間使用料
合計	1,492	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県情報セキュリティポリシーにおいて、開発元のサポートの切れたソフトウェアを使用してはならない旨、定められている。

(2) 後年度の財政負担

イラストレーターCCは年契約で使用権を獲得するものであり、今後毎年契約を更新していく必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

国や県の開発事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査を行い、記録保存し、その研究、活用をとおして県の文化振興に寄与することを目的とする県の教育機関である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 セキュリティ対策のため、発掘整理作業に使用するソフトウェアライセンスを購入・更新し、安全に使用できるようにする。
 出前授業や出前講座で使用するパソコンを安全に使用したい。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

発掘・整理作業に伴うセキュリティに要する経費であり、その性質上、指標を設定することが困難なため。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 ソフトウェアの更新
 教育普及用のパソコンの更新

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 発掘、整理作業に必要な期限切れのソフトウェアのライセンスを更新して、安全に利用することができた。
 教育普及用のパソコンを更新し、安全かつ快適に利用できた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	埋蔵文化財の発掘・整理作業において必須のソフトウェアの更新であり、必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	年々増加しているインターネット上の脅威に対して、ソフトウェアを更新することで安全性を確保し、計画的に作業を行うことができた。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	県のインターネットセキュリティに沿ったソフトウェアを適切に購入して使用することで、発掘・整理事業を効率化できた。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 イラストレーターCCは年契約で使用権を獲得するものであり、今後毎年契約を更新していく必要があるし、今後マイクロソフトオフィスも同様の状態になると考えられるため、今後も継続して取り組んで行く必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 情報セキュリティに対する脅威は年々増加しており、パソコンをインターネット環境で安全に使用することを求められているため、今後も継続して取り組んで行く必要がある。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	